

YAMAHAカデット、YAMAHAカデットオープンの高クラスを除く、全クラスでスキッシュエリアの確保が規制されます。SLカートミーティングで使用するKT100エンジンの、ピストンドライブ側と、ピストン電気側の両サイドのスキッシュエリア数値2カ所を計測し、その数値の合計が4.5mm以上あることとします。

メーカー出荷状態で装着されているシリンダーヘッドガスケット(品番:7ET-11181-10)1枚の状態では数値が確保できない場合は、現状部品発売している、メーカー純正の7ET-11181-10ガスケットまたは、SLO公認(銅製の3種類)調整用ガスケットのいずれかを用いて、スキッシュエリア数値を規定内で確保してください。

※これによって、『シリンダーヘッドガスケットの厚み0.4mm以上あること』という規定はなくなります。

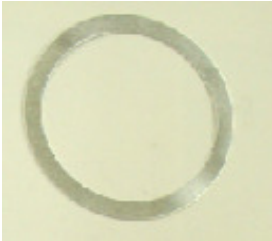
地域によって検査時間短縮をはかるため、シリンダーヘッドを開けることなく簡易検査を行うことも可能です。

その場合、ピストンドライブ側とピストン電気側いずれかのスキッシュエリアは2.3mm以上とします。

## ○調整用ガスケット 2種

①メーカー純正のKT用:7ET-11181-10 (アルミ製で0.4mm厚)

※ヤマハ純正部品取扱店で販売



②SLO公認の調整用ガスケット

銅製で0.05mm、0.1mm、0.2mmの3種あり

※カートショップにて販売



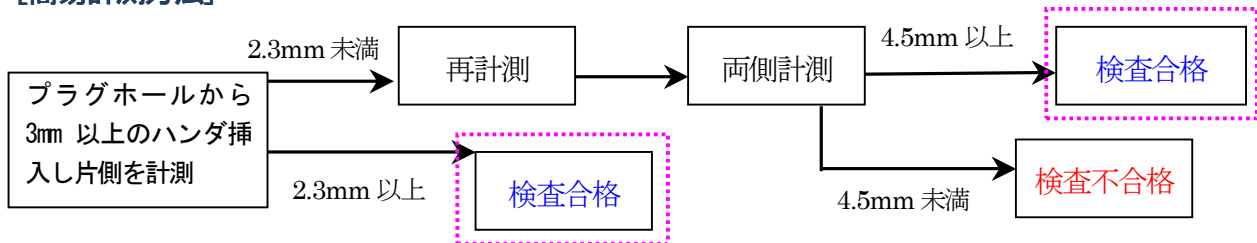
## ○使用組み合わせ例

調整用のガスケットは指定されたものであれば枚数や組み合わせに制限はありません。

- 1、純正のアルミガスケット(アルミ製で0.4mm厚)のみを1枚か2枚以上いれて調整
- 2、純正のアルミガスケット(アルミ製で0.4mm厚)とSLO公認の調整用の銅ガスケット(サイズいずれか)を組み合わせ調整
- 3、SLO公認の調整用の銅ガスケット3種いずれかを組み合わせ調整

[注意] ガスケットから圧縮漏れが確認されても、液体ガスケット(パッキン)などの使用は認められません

## 【簡易計測方法】



## ○計測方法

### <簡易計測方法>

プラグホールから3mm以上のハンダを挿入し、排気ポートに対し直角方向の指定された箇所(ピストンドライブ側と、ピストン電気側のいずれかのスキッシュエリア)にセットし、クランクシャフトを1回転させ、潰れたハンダの厚みを計測します。

潰れたハンダの厚みが2.3mm以上あればスキッシュエリアの検査は合格とします。

### <両側計測方法;簡易検査で片側2.3mm未満の場合>

ヘッドシリンダーを取り外し、3mm以上のハンダをピストン上部に指定の方法(下図参照)でセットします。

再度、ヘッドシリンダーを規定トルク【23・18N・m(2.3・1.8kg・m)】で締めて装着したのち、クランクシャフトを1回転させ、潰れたハンダの厚みを精度の良いソギスなどで計測します。

指定箇所左右の合計が4.5mm以上で合格とします。

※使用するトルクレンチは精度の出ているものをご使用ください



注) ピストンおよび燃焼室に固着したカーボンが原因で規定数値がクリアできない場合、失格となります。